

SPIE Smart Structures/NED 2014

出張報告書

作成日：2014/03/19

文責：同志社大学大学院

理工学研究科 機械工学専攻

構造工学研究室 M2 大岡 一成

学会名：SPIE Smart Structures/NED 2014

主催：SPIE

開催期間：March 9～13, 2014

開催場所：Town& Country Resort and Convention Center, San Diego, California, USA

研究題目と発表者：High cycles fatigue damage of CFRP plates clamped by bolts for

axial coupling joint with off-set angle during rotation

Kazuaki Ooka, Kazuya Okubo, Toru Fujii,

Shinichi Umeda, Masayuki Fujii and Tetsuya Sugiyama

同道者：なし

発表形式：poster session

学会 HP: <http://spie.org/smart-structures-nde.xml>

私は2014年3月9日～13日(アメリカ時間)にアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴで開催された、SPIE主催の“Smart Structures/NDE”に参加しました。下記にその詳細を記します。

《伊丹空港から San Diego 国際空港 (USA) へ移動 (出国) 》

3月8日午前に伊丹空港を出発し、成田国際空港を経由して San Diego 国際空港に到着しました。San Diego 国際空港に到着した時刻は現地時刻3月8日の午前でした。San Diego 国際空港からタクシーを利用して学会会場兼宿泊場所に向かいました。その後、会場に向かい学会参加の手続きを行いました。

《Smart Structures/NDE に参加》

Smart Structures/NDE は測定技術に関する研究が数多く発表される学会です。私の発表分野とは少し違っていました。この国際学会に参加するに当たり、前刷り原稿作成や登録手続き等、参加するまでの事前準備に大変苦勞しました。前刷り原稿と発表練習は期限の6週間前から大窪先生に何度も何度も添削をして頂きました。今回参加したポスター発表は懇親会を兼ねた発表の場になっており、和やかな雰囲気の中で行われました。聞くとところによるとこの学会は若手の研究者が多く参加する学会のようです。中には16歳のインドの高校生も参加していました。発表した分野は違っていました。外国の方4～5人、日本の方3人から質問を頂きました。内容としては「CFRP とは何なの」、「全体の流れを説明して」、

「なんでセロハンを挟んだの」等でした。他の掲示されているポスターを見て、分野が異なるので内容はあまり理解できませんでしたがポスターの書き方が国によってかなり違うという印象を受けました。海外のポスターは割と字が多く、文字のフォントも小さめな印象でした。オーラルの発表にも参加しましたがかなりしっかりとした学会ということが伝わってきました。

《San Diego 市内の観光》

今回の会場はリゾート地であったため、学会会場となっているホテルの周りには海岸沿いの遊歩道やゴルフ場、ショッピングモール以外何もない環境でした。しかし町を走るトロリーという電車を使用することで移動に苦労はしませんでした。そのトロリーを使用してサンディエゴ動物園、ダウンタウン、海沿い、コロナドビーチ、ファッションバレーというショッピングモール、メキシコに行きました。また会場で出会った慶応大学の方々と共に観光することでより観光を楽しむことができました。

《San Diego 国際空港から成田国際空港へ移動（帰国）》

ホテルから San Diego 国際空港までの移動は到着時と同じくタクシーを利用しました。San Diego 国際空港はかなり小さく空港内にお店は3店ほどしかありませんでした。3月15日のお昼頃に San Diego 国際空港を出発し、16日夕方に成田国際空港に到着しました。その後の国内線で伊丹空港まで行き JR を使用して京田辺まで帰りました。

最後になりましたが、このような素晴らしい機会を与えてくださった藤井先生、大窪先生および当研究室の皆様に深く感謝いたします。



Fig.1 Smart Structures/NDE 会場兼ホテル

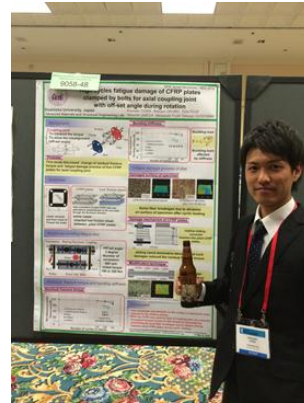


Fig.3 展示されたポスターの様子



Fig.2 コロナドビーチ



Fig.4 Downtown の駅